

ひろば大代

NO.354

大代公民館

H21.1.13

謹賀新年

本年もよろしく

お願い致します

平成二十一年元旦

新春に寄せて



公民館長 竹島 修

新年明けましておめでとうござい
ます。皆様には、お健やかに新春をお迎
えの事とお慶び申し上げます。

今年、4月から公民館が高山ブロッ
ク（大森、水上、祖式、大代）に1箇
所となり、水上町の旧水上診療所あと
に高山公民館ができて、各町の公民館
は、町づくりセンターと名前を改めて
新たな体制のもとスタート致します。
名前は変わりますが、今まで通り連
絡所業務及び情報発信の場として、ま
た地域の生涯教育の中核施設としてな

んら変わるものではありません。
今まで通り御利用・御活用頂きたいと
思います。

公民館自体変わろうとしている中、
スタッフ一同頑張ったつもりですが至
らないところも多々あった事と思いま
す。ご指導と御助力いただいた皆様方
に御礼申し上げます。

地域に根づいた活動を行い、地域の
皆さんにきていただけるようスタッ
フ一丸となって頑張りたいと思ってお
ります。皆さん活動に参加してください。
意見を聞かせてください。よろしく御
願い致します。

末筆になりましたが、皆様のご多幸
とご健康を祈念致しまして新年の御挨拶
とさせていただきます。

本年もよろしくお願い致します。

今年もよろしく

お願い致します。



大代高山会会長

木村幸司

新年明けましておめでとうございま

す。どちら様も、お健やかに新年をお
迎えることとお慶び申し上げます。

平素は、高山会事業に対しまして、
格別なるご理解とご協力を賜っており
ます事、衷心よりお礼申し上げます。

昨年末の、大田市議会におきまして、
大江高山に生息する希少動植物の保護
について、大田市自然保護条例の中に、

「採取してはならぬ」と明言化する議
題が提出され、無事採択いただきました。
登山道の草刈等、先達から受け継
いだ自然保護活動が認められた賜物で
あり、これにより、ギフチョウや、イ
ズモコバイモといった、希少動植物の
保護に少しでも拍車を掛けることにな
ればと期待しております。

こうした自然保護の活動や、ハート
フルロード事業、長年続いている都市
とふるさとを結ぶ交流会等々、高山会
の活動は、行政にも認知いただいてお
り、県知事表彰をはじめとする、数々
の栄光は、ひとえに皆様方のお蔭と感
謝いたしております。

本家のみならず、東京・関西の高山
会も、熱心に活動をいただいております
故郷の為に尽力いただいております

ことに感謝するしだいです。

市人会や県人会以外に、故郷を同じくする会の開催というものはあまり耳にしません。各地で開催される、市人会より、高山会のほうが人数も多いし、盛大であるようです。

年々人口も減少し、寂しさの増す大代町ではありますが、引き続き皆様方には、高山会事業に、ご理解とご協力をいただき、いつまでも元気な大代町でありたいと願っております。

私も、来年は、三回目の年男です。ん？・・・四回目・・・。とにかく、今年も一年よろしくお願い致します。最後に、本年も、皆様方にとつて、幸多き一年となりますことを祈念致します。まして、年頭のご挨拶と致します。

年頭のご挨拶

東京石見高山会会長 今田 潔



大代町の皆様、明けましておめでとうございます。皆様お揃いでお元気に

新年をお迎えになった事とお慶び申し上げます。

今年は皆様ご承知のとおり誠に厳しい年明けとなりました。昨年米国サブプライムローン問題に端を発した世界的な金融危機が实体经济にもおよび、欧米市場は大きな打撃を蒙って急速に収縮しました。

それら市場に輸出することで潤っていた自動車産業をはじめとする日本の製造業も大きな影響を受け、特に10月以降急速な景気後退に見舞われ、今やすべての分野で不況が深刻の度を増しています。

100年に一度の大不況と言われ、底入れも何時になるか分からず誰もが閉塞感に囚われて俯き加減になる状況ですが、こんな時こそ前向きにピンチをチャンスと考えて次の飛躍の為の力を蓄えるべきだと思っております。

特に好不況にかかわらず人間が生きて行くために必要な食料を生産している農業は比較的不況に強くチャンスと捉えるべきではないかと思えます。

雇用調整で都市部に溢れた失業者を農村に誘導して農業生産の協力隊とし

て働いてもらおうと言った施策を国と地方の行政が一体となって積極的に推進すべきであると考えます。これまで続いてきた地方から都市への人の流れを逆転させる絶好のチャンスです。

それにより国力の基本である食料自給率の向上、耕作放棄地の解消による国土保全等ができ、また一方で農村人口が増えることによって地方の活性化も期待できると考えています。

米国のオバマ次期大統領は、米国民に
“CHANGE” (変革！)

“Yes, We Can!”

(我々是可以る！)

白人、黒人、ヒスパニック、すべての米国人が丸となって立ち向かえば米国の再生・変革を成し遂げることができる。と力強く呼びかけ米国民の心をとらえました。

我々日本人もこの経済難局を必ず乗り切れると信じ、明るく胸を張って

“Yes, We Can!” (そうだ、我々是可以るのだ！) と高らかに宣言しようではありませんか。

大代の皆様、昨年総会でも話しましたように、誰にも取られない最大に

して最強の『健康』という個人資産に感謝しながらこの一年を明るく笑顔で乗り切りましょう。

最後になりましたが、昨年11月開催致しました東京石見高山会総会には大代から6人の方々に遠路わざわざ御上京、ご出席頂き有難うございました。

故郷からの生の情報提供や、恒例となつた蓬餅つきで、大いに総会を盛り上げて頂いたことに心から感謝し、厚く御礼申し上げます。

今年も東京石見高山会創立25周年という節目の年となります。これを踏まえて今年は今以上に楽しく充実した総会に致したいと思っておりますので、大代の皆様のより一層のご支援、ご協力をお願い致します。

七十歳の古希の 年を迎えるにあたって



関西高山会会長 木村滋男

大代町の皆様、明けましておめでと

うございます。皆様にはお健やかに新春をお迎えになられた事とお慶び申し上げます。

昨年米国サブプライムローン問題に端を発した金融危機は世界的に広がり今年の日本経済は厳しい年になりそうです。こんな時こそ気持ちを前向きに持って皆で助け合つて立ち向かいたいものです。

私も今年六日には七十歳の古希を迎えます。まだまだ若いつもりですが、もう時間がないと焦りの気持ちもあります。

しかし先日の新聞に載っていたニュースに元氣付けられました。それは江戸中期の画家で近年評価が高まっている伊藤若冲しやくちゆうが晩年に描いた屏風びやうぶの大作が北陸地方の旧家から発見されたという記事です。左右一対の屏風で右隻に白い象が波打ち際に座る姿、左隻には潮を吹き上げる鯨を水墨で書いているものだそうです。作品の完成時期は落款から数え八十歳頃との事です。

人間何か夢を持って挑戦すれば年など関係ないものだとつくづく思い知らされました。私もこれからの人生、夢を持って無理をせずこつこつと挑戦し

ていきたいと思つています。

昨年は私にとって宙に浮いた5千万件の年金問題に明け暮れた一年でした。

三月までは年金記録問題第三者委員会の仕事に携わり、六月からは月に六回ほど八尾の社会保険事務所で年金特別便の相談の業務に携わってきました。

この年金相談を通して年金の記録もれがいかに多いことか、痛感しています。

大代町の皆様はこの特別便の記録確認の回答票をもう提出されたでしょうか。昨年の十月までには、住所が間違つていない限り、すべての方にこの年金特別便が届いているはずですが。提出されていない方は必ず記入して提出しましょう。

その場合、昔会社に勤めたことのある人は思い出して必ず記入する事、又女性は旧姓を必ず記入する事、記入漏れで一番多いのは平成九年一月前の旧姓で勤めた期間です。

もし昔勤めた会社名が思い出せない場合は特別便を持って社会保険事務所に行つて調べてもらうのが一番よい方法です。親切に調べてくれるはずですよ。

もし行けない場合は電話でも調べてくれます。

そして昔勤めた会社の期間の記入漏れが一年以上見つければ、最低でも年三万円以上になるはずで、しかも六十歳までさかのぼって支給されます。諦めず挑戦しましょう。

今年の第十八回関西高山会の総会はJR大阪駅から徒歩約五分の「大阪弥生会館」で六月十四日(日)に開催を予定しております。今年も楽しく皆が参加出来る会になるよう幹事一同、一生懸命企画致しますので知人、友人に声をかけて頂き、大勢の皆様の参加をお待ちしております。

最後になりましたが、皆様にとって健康で明るく楽しい年でありますよう祈念して新年の挨拶とさせていただきます。

新年に寄せて

連合自治会長

武田廣司



新年明けましておめでとうございませす。皆様にはお健やかに新春をお迎え

の事とお慶びを申し上げます。

昨年の四月、突然、大役を引き受ける事に成り、この一年を振り返って見ますと幼稚園の入園式から東京高山会のイベントに参加まで初体験の連続で戸惑いの一年で有った様に思います。この間、皆様には多くの励ましやアドバイスを戴き有難くお礼を申し上げます。

このようななかで大代町のために何か出来ないかと考え、昨年度は大代幼稚園の運営資金補助制度の中止(平成二十一年以降)問題、また私達の重要な生活道路、大代祖式間の維持管理、整備、問題などについて、ことある事に関係部署に足を運び、大代町の願いを訴え続けています。

今年には自治会活動の本来の役割であります『遠くの親戚より近くの他人』いざという時にいちばん頼りになる隣近所の協力関係、住みよい地域にするための活動の一環として避難誘導方式の自主防災組織の設立、最近の異常気象に伴う災害、特に人的被害を未然に防止できる避難体制の確立に尽力したいと思えます。

牛の歩みの如く一步一步、確実に前進する自治会活動をめざして努力しますので、今年も皆様のご指導を宜しくお願い致します。

新年を迎えて

婦人会長 今田文子



明けましておめでとうございます。皆様 お健やかに新年をお迎えの事とお慶び申し上げます。

昨年は婦人会活動にご支援頂きました事を深く感謝いたします。婦人会活動は、年間計画に基づいて各部に分かれて、福祉弁当作り、夏の季節は梅干し・健康茶作り・公民館の清掃・座布団カバーの洗濯等を致します。

町の行事では、都市交流・敬老会・町民運動会・文化祭への協力等です。文化祭に毎年行う農産物の品評会には、腕自慢の立派な野菜が並んでとても嬉しく思います。

小学校の野菜作り、読み聞かせボラ

ンティアは自分たちにも勉強になって
いる事が多くあります。これらの活動
は家族の協力も大きいと思います。

以前から地域に根づいた特色ある活
動を、と聞いていましたが、大代婦人
会は、すっかり地域に根づいた活動が
継続されているように思います。

これからも地域の方々、家族の方の、
ご支援ご協力を本年も宜しくお願い致
します。

新年に思う

大代小学校 校長 松下 明



新年あけまして おめでとうござい
ます。大代町の皆様には、小学校の教
育活動に対しまして様々な面でご支
援・ご協力を賜り、誠にありがとうございます
ございます。

この平成二十一年という年を、児童
一三名・教職員七名で健やかに迎える
ことができました。これも皆様のお陰
と感謝しております。

さて、昨年は、二年ぶりの一年生の
入学があり、待ちに待った春がやって

きた年でした。今年も三名の園児が今
春の大代小学校の入学を楽しみに待っ
ているところです。

大代小学校では「二十一世紀を生き
抜く、豊かな心と活力のある子どもの
育成」といった学校目標を掲げ、子ど
もたちにこのような力をつけていくた
めに、日々の様々な教育活動に取り組
んでいます。この目標を達成するため
には、保護者の皆様のお力だけでなく、
地域の皆様のご協力が不可欠であるこ
とは言うまでもありません。

昨年は皆様のご協力により、「大代
町文化祭」と「大代っ子発表会」を共
催という形で同日開催することができ
ました。お陰様で園児からお年寄りま
での大代町民が小学校に集い、文化祭
を通して地域を盛り上げることができ
たことを大変うれしく思っています。

これからも、地域・家庭・学校の連
携をさらに深め、大代の子どもたちの
育成に教職員一同さらに努力してまい
りたいと思います。

今後とも、保護者・地域の皆様のご
支援とご協力を賜りますよう、よろし
くお願いいたします。

一年をふり返って

寿会会長

日向 良



昨年も種々話題にふり回された。
中国製冷凍ギョウザを食べた千葉県
市川市の家族が下痢や嘔吐に苦しみ入
院と言う結果となる。検査では毒物の
殺虫剤が混入された原因は未だに核心
に迫っていない。

四年に一度開催される民族の祭典で
オリンピックは中国と決まっていた。
その前哨戦である聖火リレーではチベ
ット自治区の暴動を中国政府は武力で
鎮圧したがこれに対し世界中の人権団
体は反発し聖火リレーが抗議の場とな
り各地で小競り合が繰り返された。

一方国内では岩手宮城で内陸地震が
発生し、死者十三人、行方不明十人、
負傷者四百人という大惨事となり、未
だに避難生活を送っている人々が二百
人ばかり居られるという。

次に「事故米」と言って吾々には馴

染のない言葉である。基準を超える農薬やカビに汚染された米で本来は糊の原料として使うのであるがその事故米が酒造会社、焼酎製造会社、和菓子メーカー、病院・保育園・学校給食、コンビニのおにぎり等、その対応に苦慮する事態となった。

農水省では度々倉庫に出向いて検査を行ったが発見されずその責任をとって農水大臣と次官が辞めるといういわゆる事故米の転売事件は皆さんも記憶に新しい事と思います。

ところで一昨年は安倍さん、昨年は福田さんと二人の首相が在任一年そこで辞任という事態が起きた。そして麻生首相の誕生となった。

昨年末新聞各社の世論調査によれば麻生内閣の支持率は二十%台で非常に危険水域に達していると報じていた。今後麻生首相の政権に期待し、指導力を発揮されるよう望むのである。

このところ世界的大不況で日本でも少なからず影響が出ている。基幹産業の自動車、電気産業の派遣社員の餓切りや新卒の内定取り消し等々不快な事ばかりであった。

せめて今年に於いては少しでも明るい年であって欲しいと希望する。改めて本年もよろしくお願い致します。

新年の挨拶

大代消防分団長 坂本静雄



新しい年を迎え、団員並び地域の皆様に謹んで新年のお慶びを申し上げます。平素は消防団活動に格別の御高配を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は風水害等が無く、特に台風に關してはまったく影響がなく平穩無事で新しい年を迎えて安心した所ですが海外ではハリケーン、大規模な地震、テロによる武力攻撃等が発生し、身体、生命、財産に大きな打撃を与えています。大代町でもいつ大規模災害が発生するか予測がつきません。

その為にも地域住民の皆様と一体となり地域防災に日頃から防災意識の高揚を図りながら、関係機関との確な対応と連携強化をはかり、地域住民の方

に安全で安心して生活が出来るよう、消防団員の訓練はもとより災害、火災への対処に備えてまいります。

さて最近人口の減少にともなう消防団員の確保が全国的に難しくなっている。大田市の各分団でもそれなりの影響が出ております。

そうした中、消防庁より団員減少を食い止め、増加に転じる様新たな対策を打ち出しました。「消防団協力事務所」表示制度です。

つまり消防団全体の70%がサラリマンである為、団員を確保するため企業や事務所の理解協力が必要とされ、この為消防団活動に協力していただく顕彰する意味をこめて、市町村が事業所に対し、協力マークを交付し表示をもらう制度です。

大田市ではすでに三社の企業事業所に交付されました。そして該当事業所の団員におかれましては少なくとも今まで以上に活動しやすくなったと思います。

各地域にあつて、消防組織は重要でそして地域の接点を持ちながら団員の

減少のないようご支援をお願い致します。この事が身近な問題として捉えていただけたならと思っております。

さて今年は大田市で消防島根県大会が開催されます。今年は大代分団も第四ブロック代表として小型ポンプ操法の予選出場が決定しております。是非予選会でも良い結果を残し、地元開催の県大会へ出場出来る様団員一丸となって訓練を重ね精進して参ります。

終りに皆様方の御健勝と御多幸を御祈り申し上げ、新年の挨拶といたします。

頼りにし、される都市と

農村の絆



高山の里直売所運営組合

横手新治郎

明けましておめでとございます。

世界同時不況が進行するなかで年越し、新しい年が始まりました。

振り返ってみますと平成20年は激動の年でした。ギョウザ事件、メラミン混入事件、M A事故米など食品の汚

染や偽装事件が次々と発覚し、未だにとどまる気配がありません。

小麦などの輸入穀物は高騰が続き、発展途上国では飢餓が拡大していると言われます。そんな中で、米の消費はわずかですが増加し、直売所などの活動により国産・地場産志向が強まり、食糧自給への感心は、大いに高まり始めました。このような時期にタイミング良く活動を続けている大代の直売所”よっちゃん菜”ですが、野菜、加工品等を出して頂く方が少ないことが残念です。

安全・安心のおける食品が求められる傾向が、強くなるほど、都市と農村がお互いに頼りにし、頼りにされる新しい関係を作らなければなりません。「ふるさと小包」の人氣が高くなってきました。その結果と思えます。知人・友人・親戚などへの贈答に、また、隣近所への贈り物、従業員への年末贈答品などで、都市では購入できない逸品と大変喜ばれていると便りが届いています。

少量でも多くの品目を作り、高くなつた化学肥料や農薬を出来る限り減ら

し、堆肥を使った野菜を作れば売れるはず。大代の土地のよさ、環境の良さを活かした「食」づくりに挑戦し、元氣を出して頂きたく思います。今年もご協力頂きます様よろしくお願い致します。

12月発送しましたふるさと小包の感想を寄せていただいておりますので、一部をご紹介します。

《よもぎ餅》 風味があります。よもぎの香りが大好きです。よもぎの香りが良かった。もち米が良いのでしようね。

《味噌》 毎日いただいています。塩分が少ないのが良く、安心商品です。色も塩味も私達家族好みで最高。

《米》 最高においしかったです。亡くなった両親が送ってくれていた事を思いだし、ご飯を美味しく食べられ、感謝です。

《手作りコンニャク》 味が良く染みておいしかった。

《ウメ漬け》 昔ながらの漬け方が大好きです。添加物の無い、安心していただけることがうれしい。造る方は大変でしょうが頑張ってください。

傘寿燦々 さんさん

大田久手 原田萬里



明けましておめでとうございます。八十年の生きざまを振り返り、懐かしい古里に縁をもった人々と過ぎし日を偲び拙い一文を捧げたいと思い筆初めとしてみました。

私はある場で現職の先生から「生徒の指導に即効薬と云うものがあつたら嬉しいですね」と独り言のような苦渋に満ちた言葉を耳にしたことがあります。教職に身を置く者は、誰も一度ならず体験されたことであろうと思いません。

私も三十歳半ばの時、学級に馴染めない子供が居り、しばしば塵々宿直室に誘い、二人きりで手を握り合つて論じたりしました。しかし、その効果を見ることなく私は転勤となり、時ばかりが過ぎて行きました。

あれから二十幾年を経て、彼は奥さんと幼児を伴って私の家を訪ねてくれ

たのです。

来訪の主旨は、彼の小学生時代の馴染めなかつた理を話し、今は一流の職人技を身に付け、家庭も持っていることを報告したいとの思いから、家族同伴で来宅したことを聞きました。

奥さんと幼児を連れてまで訪ねてくれた彼の心情と、奥さんの深い理解に感動した一時でした。

別れ際に私の処女作品である「自然」の色紙を記念に贈りました。（私流の解説をつけて）それから十年の時が流れ、今度は自分の技を駆使した、樺の芯材にあの「自然」を忠実に彫り込んだ額を贈って来ました。

私は声にならない驚きと感動の中、早速玄関に飾り付け、朝夕に心を止めて合掌の念を深くしています。

「自然」は島大養成課程に在学当時、川上清吉教授の夜学で歎異抄を学んだ時の親鸞の言葉として心に残った教えです。私が教員として目覚めさせられた大切な言葉なのです。

私は今、傘寿の縁に結ばれ、玄関に立つとき、樺の額を見る度に燦々とした爽やかな気分になり切れるのです。

教育は技術ではなく、教師と子供の映し合いであり、教師の感化力であると思えます。

今、日本は人心が乱れています。敗戦がもたらした罪でもあると思います。敗戦が、教師が師としての奥義を発揮して、子供だけではなく、社会もリードする時機が到来したのではないかと私は思うのです。

2月行事予定

8日(日) 福祉弁当

10日(火) 出張申告相談
午前9時30分～12時 公民館にて

22日(日) 男の料理教室

23日(月) 連合自治会

編集後記

積雪のお正月でしたが、皆様お健やかに新春を迎えられた事と思います。昨年のご寄稿有難うございました。本年も皆様からのより一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

